



共生社会システム学会ニュースレター

The Association for Kyosei Studies News letter

2025年12月24日発行 第39号

目 次

1. 2025年度大会(大和大学)の報告	1
2. 2026年度大会(白梅学園大学)の開催について(第1報)	2
3. 2024年度第4回運営委員会の報告	2
4. 『共生社会システム研究』編集委員会からのお知らせ	3
5. 学会内研究会報告論文について	3
6. 運営委員会事務局だより	3
7. 会費納入のお願い	4

1. 2025 年度大会(大和大学)の報告

2025年度共生社会システム学会大会は、2025年11月22日(土曜)、23日(日曜)に、大和大学政治経済学部(吹田キャンパス)にて、対面で開催されました。今回は、2026年の大会設立20周年に向けた連続記念大会の一回目です。

初日の22日は世界システム論の山下範久先生(立命館大学)の特別講演「リベラリズムを基礎づけなおす」で幕を開け、記念シンポジウム「分断の危機と共生社会 一人と社会の多様性を求めて」では学会内の4つのグループが下記のテーマで活発な議論を繰り広げました。

座長：古沢広祐

教育グループ 「民主主義の危機と若者の政治参加」

登壇者：秦 範子，東方 紗由理，石山 雄貴

哲学・倫理グループ 「多文化主義の問い直しと多文化共生の可能性」

登壇者：片山 善博，オプヒュルス鹿島 ライノルト，砂子 岳彦

環境思想グループ 「共生社会の環境思想 一価値・制度・現場をつなぐ」

登壇者：太田 和彦，大倉 茂，笠原 恵美

農業経済グループ 「農業環境・地域政策と食料システム 一最近の政策動向に着目して」

登壇者：桑原 考史，中本 英里，石井 圭一(web)，横田 茂永

二日目23日は個別報告が10件、会員企画ワークショップは学会内研究会3件を含めて以下の4件が開催されました。

「*The Routledge International Handbook of More-than-Human Studies*を読む」

企画代表：丹羽一晃／中部地区環境思想研究会(学会内研究会)

「地球共生とデザイン」

企画代表：白鳥 武

「共生社会に資する地域振興のあり方」

企画代表：武谷嘉之／共生社会研究会（学会内研究会）

「動物園における動物のふれあいについて」

企画代表：高橋宏之／「人と動物の共生」研究会（学会内研究会）

今年の大会は、シンポジウムだけでなくワークショップも4件と多く、会員同士の議論を中心とする非常に充実した内容になりました。

大会に合わせて理事会と学会総会が開催され、以下の議題はいずれも出席者の賛成多数によって承認されました。

- （１）2024 年度事業報告
 - （２）2024 年度決算報告
 - （３）2024 年度決算の監査報告
 - （４）2025 年度事業計画
 - （５）2025 年度予算
-

2. 2026 年大会（白梅学園大学）の開催について（第1報）

2026年大会は白梅学園大学（東京都小平市）にて対面にて開催いたします。

開催は10月前半を予定しています。具体的な日程・テーマ等は追ってお知らせいたします。

会員各位の積極的なご参加をお願いします。

3. 2024 年度第 4 回運営委員会の報告

第4回運営委員会が下記の日程で開催されました。

日時： 2025年11月8日(土) 17：00～19：00

場所：オンライン

出席者（敬称略）：柏，朝岡，植木，岡野，武谷，桑原，横田，松木

欠席者（敬称略）：オブヒュルス鹿島

報告事項：

- 1) 松木理事より入退会について報告があった。
- 2) 桑原編集委員長より学会誌第19巻，20巻の編集状況について報告があった。
- 3) 岡野運営委員長から20周年記念シンポジウム企画委員会の開催日程について報告があった。

審議事項：

- 1) 理事会・総会議案書，会計書類の確認
2026年大会にて開催される理事会・総会用の書類について審議，確認した。
- 2) 2026年大会準備の確認
2日にわたるスケジュールと会場準備状況について確認した。

3) 20周年記念書籍の出版について

学会設立20周年記念として書籍の出版を計画し、理事会・総会に諮ることとした。

4) 2026年度大会実行委員会設置について

以下の構成で実行委員会を立ち上げることとした。なお開催校より実行委員の追加があり得ることを確認した。

- ・大会実行委員長：朝岡副会長（開催校(白梅学園大学)代表)
- ・柏会長
- ・岡野運営委員長
- ・武谷運営副委員長
- ・植木副会長（広報担当）
- ・松本総務担当理事（会計担当）

5) 次回(2025年度第1回)開催日程 2026年3月7日（土）17：00～の開催とした。

4. 『共生社会システム研究』編集委員会からのお知らせ

現在、『共生社会システム研究』第20巻は、2026年10月の発行を目指して論文審査と編集を進めています。なお、第20巻は電子媒体として発行（J-Stage及び学会ウェブサイトに掲載）いたします。

第21巻への投稿については今後のニュースレターでアナウンスをする予定です。

5. 「研究会報告論文」の執筆依頼と学会誌掲載について

当学会にはいくつかの「学会内研究会」があり、学会大会とは別に共同で研究活動を行っています。その成果を学会内で共有するとともに、社会に広く発信するために、各研究会に学会誌への原稿執筆を依頼することとしました。当面試行的に、学会誌上のジャンル名を「研究会報告論文」として、小特集の形式で掲載していきます。なお、今年度の執筆依頼はすでに行いました。

※会員の日常的な研究・交流活動を支援する目的で、会員が運営している研究会を、「共生社会システム学会内研究会」として承認・支援しています。詳細は学会ウェブサイトの「研究会」のページをご覧ください。

6. 運営委員会事務局だより

学会設立 20 周年に向けた連続大会の一回目が無事に終わりました。大和大学の福留先生が準備から当日まで駆け回って対応してくださったおかげです。どうもお世話になりました。

特別講演の山下先生のお話にあった「社会は自然のなかにあり、自然は社会のなかにある」という視点は、それに続くシンポジウムで出されたエコロジカル・フェミニズムや〈農〉の視点とつながり、当学会がテーマとする「人と人」の共生、「人と自然」の共生の重要性、そして両者

が不可分であることを示していたと言えるでしょう。来年は今大会の議論の「後編」となります。シナリオなど、もちろんありません。乞うご期待です。

今回の大会でもう一つ見えてきたのは、学会内でのグループ活動の重要性です。そこで、4.にありますように、学会内研究会の報告論文を試行的に学会誌に掲載いたします。学会の存在意義は研究交流にこそあります。この試みがよい方向性を生んでいくことを期待したいです。

※事務局では会員の皆様からの情報発信を受けつけています。会員の活動紹介や、会員が執筆・翻訳した著書・論文の紹介等、当ニュースレターやメール配信で共有しますので、運営委員長の岡野 (i-okano(at) cc.tuat.ac.jp)までお気軽にご相談ください。

7. 会費納入のお願い

2025 年度会費の納入をお願いいたします。会費は、一般会員 6,000 円、学生会員 3,000 円、賛助会員 20,000 円となっております。2024 年度以前の会費を未納の方は、未納分も含めて納入をお願いいたします。

- ◆郵便振替：00130-6-372850 （加入者名）共生社会システム学会
- ◆ゆうちょ銀行への振込：
（店名）〇一九（ゼロイチキュウ） （店番）019
（預金種類）2 当座預金 （口座番号）0372850
- ◆三菱 UFJ 銀行への振込：
（金融機関名）三菱 UFJ 銀行（支店名）目黒駅前支店（口座番号）1408018

また、住所、所属先、メールアドレスに変更がある場合は、連絡をお願いいたします。

共生社会システム学会ニュースレター 第39号 2025年12月24日発行
編集・発行 共生社会システム学会運営委員会事務局
連絡先 〒183-0051 東京都府中市栄町1丁目5-2 池田ビル203号室
日本環境教育研究所内
メールアドレス: kyosei.syakai.gakkai@gmail.com